

連絡網にて会員各位（各グループ企業）へ配付、FAX方お願いいたします。

発信番号：DNSC - 289

発信日：2003年4月30日

原稿枚数：2

会員各位

（総経理・所長、駐在員の皆様）

ご家族の方にもお知らせ下さい

発信：大連日本商工クラブ
事務局長 加藤 康二

SARS アンケート集計結果

標記に関し、集計結果をご報告します。大連日本商工クラブ会員の皆様におかれましては、お忙しい中、アンケート期間が短かったにもかかわらずご協力を頂きまして誠にありがとうございました。

有効回答数：85社

		既に実行済	実行予定	検討中・ 検討予定	予定無し	回答無し
日本人駐在員	1. マスクを支給	68%	8%	8%	13%	3%
	2. うがい薬を支給	19%	15%	13%	47%	6%
	3. 薬用石鹸類を支給	19%	9%	6%	59%	7%
	4. 家族の一時帰国（自費）	2%	4%	5%	56%	33%
	5. 家族の一時帰国（公費）	14%	8%	12%	42%	24%
	6. 本人の一時帰国（自費）	1%	1%	7%	73%	18%
	7. 本人の一時帰国（公費）	1%	5%	13%	69%	12%
	8. 休暇取得の奨励	5%	2%	11%	73%	9%
現地職員	1. マスクを支給	70%	12%	5%	13%	0%
	2. うがい薬を支給	11%	13%	13%	60%	4%
	3. 薬用石鹸類を支給	20%	9%	6%	62%	3%
	4. 自宅送迎の実施	12%	0%	3%	80%	5%
	5. 休暇取得の奨励	4%	0%	8%	83%	5%
組織体制	1. SARS対策班（係）を設置	38%	8%	13%	32%	9%
	2. 出張地域の限定	63%	5%	8%	12%	12%
	3. 社内での殺菌・消毒	85%	4%	7%	1%	3%
	4. 地域に係らず出張禁止	39%	3%	21%	31%	6%
	5. 出張者の自宅待機	15%	5%	20%	49%	11%
	6. 交替出勤制の導入	9%	3%	11%	72%	5%
外部対応	1. 特定地域からの来客制限	41%	8%	18%	26%	7%
	2. 特定地域からの来客に対してマスク着用して対応	25%	13%	20%	34%	8%
本社	1. 日本からの出張制限	63%	7%	9%	21%	0%

その他の対応策

- 日本人駐在員一時帰国：・帰国の費用は会社負担（1社）
・拡散の可能性があるので、帰国禁止（1社）
・帰国後1週間程度会社保養所に滞在、その後実家などに移動することに検討中（1社）
・5月連休は帰国（1社）
- 現地職員：・構内、社員寮などの消毒（一回/日）（1社）
・SARS 発症地域への帰省、旅行禁止（1社）
・SARS に関する社内放送（二回/日）（1社）
・出勤時の感応体温測定（38度以上出勤不可）（1社）
・毎日消毒実施（1社）
・血液検査を全員に実施（1社）
・特に来客に接触する可能性の多い職員に対し、マスクを支給（1社）
・会社～社内間通勤バス（1社）
・出張時マスク支給（1社）
・労働節期間中、全従業員の帰省禁止。
- 出張限定地域：広東省（10社）、香港（11社）、北京（21社）、広州（9社）
山西（4社）、福州（1社）、上海（2社）、天津（1社）、内モンゴル（2社）、広西（1社）、全中国（2社）、ハノイ（1社）、トロント（1社）
・遼寧省内で瀋陽以南のみ許可（1社）
・外務省より注意が出ている地方（6社）
・大連市以外は出ない（6社）
・地域にかかわらず出張禁止（3社）
・10月28日まで国内出張禁止（1社）
・都合上しかたなく汚染地域に出張することがある（1社）
- 組織体制：・大連市以外の帰宅、旅行は取りやめするよう個人ごとに指導、中止（1社）
・朝夕二回消毒（1社）
・休暇中の旅行や出張を取りやめ（1社）
・出張者の自宅待機（北京出張帰還者）（2社）
・発生地区への出張者及び発生地区から戻った出張者のみ自宅待機（1社）
・出張者にマスク、うがい薬支給のうえ自宅待機（1週間～十日間）（1社）
・注射等をするため隔離室を用意（1社）
- 外部対応：・「制限」というより不要・不急の来訪に関しては延期の要請をする（1社）
・大連以外からの来客にマスクを着用して対応（1社）
・地域を登記し、発生地域の来客は会社入り口にて消毒（1社）
・10月28日まで来訪者を受けない（1社）
・大連市以外の来客制限。大連市で感染者がでた場合は大連市の来客も制限する方向で検討（1社）
- 日本からの出張制限：帰国後十日間は、一般事務所に入らず専用執務室（隔離室）で業務（1社）